

# 楠まちづくり新聞

つながる会  
発行  
会長 玉崎和実  
事務局 白井春夫  
広報部 高石正憲

# 楠小学校区つながる会

## 安全・安心で助け合える地域の絆づくり

つながる会では平成29年度のメイン事業として「避難所運営マニュアル」の作成に取り組みます。12月3日(日)の防災訓練には当マニュアルを適用して避難所運営に当たる予定です。

# 避難所運営マニュアル作成

## 現状

大阪府では、大阪府内市町村が避難住民の多様なニーズに応じた避難所運営を実施することができよう、これまでの災害教訓や関係団体等の意見も参考にしながら、「安全確保・生活の場としての避難所」「災害時要配慮者に対応した避難所」「住民により自主的に運営される避難所」の3つの視点に着目した「避難所運営マニュアル作成指針」を作成しています。

避難所は、教育の場である学校や自己啓発等の場である公民館を活用することが多いですが、これらは災害時使用を一義的な目的としたものでないことから、施設の構造や設備の面において避難所としての機能を十分に発揮しうるものとは言えず、高齢者や障がい者等の要配慮者を含む避難住民に対して、運営面できめ細かい配慮を行うことが重要です。

市町村におかれては、地域の実情にに応じ、より府民の方々の避難生活のQOL(生活の質)向上に向けて、改めて実践的な避難所運営マニュアルの作成・運用について、住民、ボランティア団体、企業と連携した避難所運営訓練等による検証と対策へのフィードバックをされるなどして、一層の避難所対策の充実・強化を図っていただければと考えます。

というところで、運営マニュアルは避難所を利用するであろう我々が指針にそって作成することになっていきます。

## 作成スケジュール

左記のスケジュールを進めます。

- 第一回 9月22日(金)
  - 第二回 10月13日(金)
  - 第三回 10月27日(金)
  - 第四回 11月10日(金)
  - 第五回 11月24日(金)
- 19時半から松ヶ丘集会所で開催します、どなたでも参加して自由に発言できます。



第一回会議の様子



第一回会議の様子

## 第一回会議

第一回会議を9月22日(金)に行いました。会議の冒頭に前提事項を整理し内容を全員で共有しました。

- ①災害の範囲を想定  
大地震の発生を想定し水害・火災・津波等は除きました。さらに地震の強度や震度も細かく設定せず、市内全域に地震の被害が同じレベルで及んでいるとしています。
- ②避難所の想定  
市内の避難所(指定41箇所・指定福祉4箇所・協定6箇所)51箇所全てが開設されている大変な事態を想定しています。
- ③具体性を持たせる  
左記三か所の避難所に避難する地域を仮設定して考えやすくなりました。

- ・楠小学校
- ・大阪暁光高校
- ・千代田公民館

## 課題山積

前提事項の整理に続いて避難所の施設について検討する。「備蓄品の数の少なさ」に驚く、さらに「耐震設計になっていないか」とか疑問や今後の確認項目が続く。

さらにガイドでは避難所開設に際して事前に建物の被災状況を確認しな

ければならない。「昼間の学校が授業中の場合はどうする」、「夜間は誰が鍵を開けて灯りの無いところを確認するのか」、「教室の配置等が不明では確認できない」等々、相当な数の問題点や課題項目が洗い出されました。

一回目の会議では一つ一つを解決することなく洗い出し優先で先に進め

た。自由な気持ちでマニュアル作成にどうぞ参加してください。

## 備蓄品(数量)

	楠小学校 指定避難所	大阪暁光高校 協定避難所	千代田公民館 指定避難所
避難所種別	指定避難所	協定避難所	指定避難所
収容可能面積	2,213㎡	810㎡	-
収容人数	1,106人	405人	276人
アルファ化米	300食	協定避難所の場合、 自治体による備蓄品は 用意されていません	150食
乾パン	480食		120食
ボトル水(500ml)	120本		120本
簡易トイレ	20個		20個
毛布	100枚		30枚
発電機	1台	1台	1台
防災倉庫	1棟	-	-

昨年2月に危機管理課より受けた「河内長野市の災害対策」より抜粋

**第3回 自主防災会 防災訓練**  
12月3日(日) 楠小学校 9時～  
避難所運営マニュアルを試行します

12月に試行しても完成ではなく、来年度も継続してマニュアル作成は行われるものと思われま